


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立森田養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	生徒会オリエンテーション		
	単元(題材)の目標	生徒会における自分の役割を知ることができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	全学
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての生徒会活動ということもあり、活動内容自体に興味はある。 ・時間いっぱい集中することが難しい生徒が何名かいるが、離席する生徒はほぼいない。 ・MTによる一斉指示を理解することが難しい生徒が何名かいる。 ・映像が映し出されたモニターは、ほとんどの生徒が注視することができる。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	ホスト（主担当指導者）→ノートPC、プロジェクター、モニター、USBカメラ、マイク内蔵USBスピーカー ゲスト（各学級）→i P a d、プロジェクター、モニター		
	使用したアプリケーションの名称	Z o o m		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	コロナウイルス感染症対策として、集合形式以外の形での授業形態はないかを考えた結果、本授業のようなりモートワークに行き着いた。この形式で行うことで感染リスクの軽減の他に、映写された映像に集中することで、通常の授業よりも知識の定着が図られるのではないかと考える。		
活用の状況と支援	参集式の時よりも、生徒が集中して話を聞いている様子が多く見られた。また、事後に生徒各自へ役割の確認をした際にも、ほとんどの生徒が自分の生徒会における役割について答えることができていた。集中することが難しい一部の重複学級生徒は、指導者が側に座り、モニターに注意を促すなどの支援を行うことで、時間いっぱい活動に参加することができた。			